

令和8年度 高等部概要



茨城県立美浦特別支援学校

〒300-0426

茨城県稲敷郡美浦村土屋字笹山 3127

TEL 029-885-4166 FAX 029-885-5689

1 学部目標

- 一人一人の特性や発達段階に応じた学習指導の充実や協働的な学びの充実に努め、社会参加に必要な知識・態度・習慣を養い、活用できる力を育てる。
- 家庭・地域社会・関係諸機関との連携した教育活動を行い、地域で生きる人材を育成し、自立と社会参加を目指す。
- 健康な身体と豊かな情操を培い、安全・安心な学校生活の中で、生き生きと生活できる力を育成する。

2 教育課程

(1) 類型化(コース制)

自立活動コース

自立活動の学習を中心に、障害の状態、一人一人の課題に応じた学習を実施し、心身の健康の維持増進や運動機能及び基礎感覚機能の維持・向上を図る。

生活コース

社会生活及び日常生活の基礎となる基本的な学習内容の定着を図る。

総合コース

社会生活及び職業生活、日常生活の基礎となる基本的な学習内容の定着を図る。

職業コース

企業への就職を目指し、社会生活及び職業生活の自立に必要な知識・技能・態度の習得を図る。

(2) 類型化(コース制)のねらい

- ・一人一人の進路希望や障害の状況、特性・関心などの教育的ニーズに応じた教育課程の編成
- ・学びのペースに応じたグループ編制による学習の推進と充実
- ・自立と社会参加の育成に結び付く学習の展開

(3) 学級編制

- ・各コースを基本に学年ごとに編制し、学びのペースに応じた学習を充実させ、落ち着いて取り組むことのできる学習環境を設定

(4) コースの決定

第1学年 入学者選考結果をもとにコース決定

- ・3月・・・入学者選考の各検査の結果等をもとにコースを決定

第2・3学年 コース検討会で再検討・決定

- ・進路希望、学習状況・成果、校内実習や現場実習の評価などにより総合的に判断する。
※進級時のコース変更は可能とする。

(5) 学年及びコース別の週時数

		職 業 コ ー ス	総 合 コ ー ス	生 活 コ ー ス	自 立 活 動 コ ー ス
コ ー ス 授 業	国 語	2	2	2	
	数 学	2	2	2	
	職 業	9	9	4	
	情 報	2			
	家 庭	1	1	1	
	自 立 活 動	1	3	8	21
	理 科	1	1	1	
	社 会	1	1	1	
学 年 授 業	保健体育	4	4	4	2
	音 楽	2	2	2	2
	美 術	2	2	2	2
	道 徳	1	1	1	1
	特別活動	1	1	1	1
	総合的な探究の時間	1	1	1	1
合 計		30	30	30	30

(6) 日課表

	月	火	水	木	金
1	<コース> 着替え・トレーニング・朝の会				
2	<コース>				
3	自立活動コース：自立活動				
4	生活コース：国語、数学、職業【進路の内容・作業的内容】、家庭、自立活動、理科				
	総合コース：国語、数学、職業【進路の内容・作業的内容】、家庭、自立活動、理科				
	職業コース：国語、数学、職業、情報、家庭、自立活動、理科				
	給 食 ・ 昼 休 み				
	掃 除				
5	<学年> 道徳	<学年> 1年 音楽 2年 体育 3年 体育	<学年> 1年 総合 ※社会 2年 美術 3年 音楽	<学年> 1年 美術 2年 総合 ※社会 3年 総合 ※社会	<学年> 1年 体育 2年 音楽 3年 美術
6	特別活動				
	<コース> 着替え・帰りの会				

※社会科はコースで学習します。

(7) 各教科等について

教科等	内 容	学 習 形 態
国語・数学	社会生活に必要な国語や数量などに関する理解を深め、それらを活用する能力と態度を育てる。	コース別 グループ編制
職 業	作業活動を中心にし、働く力や将来の職業生活や社会自立に必要な力を高める。	総合コース (縦割り編制) 生活コース 職業コース
	生徒一人一人が自己の適性を理解し、将来の働くために必要な知識・技能・態度を身に付ける。	コース別
情 報	パソコン等で文字入力や表の作成などができるようにする。また、情報社会に主体的に参加するために情報モラル等の知識や態度を育む。	職業コース
家 庭	衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活に必要な基礎的な知識と技能を身に付ける。	コース別
保 健 体 育	いろいろな運動の経験や健康・安全についての理解を深め、健康の保持増進と体力の向上を図る。	1年生；学年 2、3年生； 学部縦割り 3グループ編成
理 科、 社 会	観察や実験等を通して社会生活に必要な問題解決の力等の育成を図る。また、社会的事象について関心をもち、情報を適切に調べまとめたり、表現したりする力等を育む。	コース別
音 楽	歌唱・鑑賞・器楽演奏などを通して、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わり、表現力を高め、豊かな情操を育む。	学年・学級
美 術	表現や鑑賞などの幅広い活動を通して、ものの見方や表し方への興味を高め、材料や用具の使い方を知り、表現力・創造力を育てる。	学年・学級
自 立 活 動	生徒一人一人が自立を目指し、学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識・技能・態度、及び習慣を身に付ける。	学年・コース 教育活動全体
道 徳	経験の拡充を図り、健全な社会生活を営む上に必要な道徳的判断力や道徳的実践力を高める。	学年・学級
特 別 活 動	集会・委員会活動・集団活動などを通して、経験を広めて積極的な態度を養い、社会性や豊かな人間性を育む。	学年・学級
総 合 的 な 探 究 の 時 間	課題を見つけたり、交流や体験、調べ学習などを通して課題解決に取り組んだりする力を育成する。	学年・学級

(8) 学年での学習について 5・6校時

音 楽	◇歌唱、器楽、手話・身体表現、鑑賞など
美 術	◇絵画、造形、工作、鑑賞など
道 徳	◇自分自身、人との関わり、集団や社会、生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
特 別 活 動	◇学級活動（HR）、委員会活動、学校行事
総合的な探求の時間	◇交流活動、SDGsについて、国内外の文化、防災、校外学習事前事後学習など

(9) 各コースの日課と学習内容について

自立活動コース

- 心身の健康の維持増進を図る。
- 運動機能及び基礎感覚機能の維持・向上を図る。
- 人や物とのかかわりに気付き、感じたことを表出できる力を伸ばす。

		月	火	水	木	金
1	8:50	自立活動（健康観察・個別課題） HR（学 級）				
	9:30					
2	9:40	自立活動 （感覚・情操）	自立活動 （感覚・情操）	自立活動 （感覚・情操）	自立活動 （表現・造形）	自立活動 （表現・造形）
	10:30					
3	10:35					
	11:25					
4	11:25					
	12:15					

自立活動

個別課題

◇個別に応じた指導（体調を整える体操、ストレッチ、コミュニケーションの学習など）

表現・造形

◇視覚、触覚、嗅覚などを五感を活用して、素材の違いに気が付く。
 【ソルトアート、アロマポンポンづくりなど】
 ◇教師からの働きかけを受けて、視線を合わせたり、声や表情、身体の動きによって気持ちを表現したりする。【クリスマス飾り、バスボムづくりなど】

健康・運動

◇身体を動かす。
 ◇健康観察（顔色、体温、脈拍、サチュレーション）
 ◇朝の会、ふれあい体操など



感覚・情操

◇音楽に合わせて体を動かす活動を通して、感じたことを表情や発声などで表現する。【音楽鑑賞】
 ◇本を見たり、映像を見たりして感じたことを表情や発声などで表現する。
 【感覚遊び、読み聞かせ、鑑賞など】
 ◇様々な感覚を使って、環境の変化に気付いたり、感じたことを表情や発声などで表現したりする。
 【季節や行事の作品制作、季節を感じよう(校内散策)】



校外学習

◇経験拡充のための体験的な活動

生活コース

- 基本的な生活習慣の確立と定着を図り、自分でやり遂げようとする意欲と力を伸ばす。
- 自分の気持ちを表現し、人とのかかわりを意識して集団の中で活動する力を伸ばす。

		月	火	水	木	金					
1	8:50	トレーニング（自立活動・保健体育）							HR（学級）		
	9:30										
2	9:40	国語	数学	国語	数学	家庭	理科	社会			
	10:30										
3	10:35	職業	自立活動	自立活動	職業						
	11:25										
4	11:25	職業	自立活動	自立活動	職業						
	12:15										

教科、項目	授業内容
トレーニング	◇運動トレーニング【ウォーキング、ランニングなど】 ◇自立活動【身だしなみなど】
国語	◇一人一人に応じた学習内容、小グループによる学習 【聞こう・伝えよう、名称、読む、書く、かるたとりなど】
数学	◇一人一人に応じた学習内容、小グループによる学習 【数えよう、仲間分けをしよう、色や形の弁別、一対一対応、買い物など】
理科	◇実験や観察など体験的な学習を通して、社会生活に必要な力の育成
社会	◇社会的事象について興味をもち、情報を調べる手段を知り、自身の感じたことを表現する
職業	◇社会生活に必要な基礎的知識の習得や社会自立に必要なマナーやルールの習得 【働くこと、身だしなみ、進路選択に関することなど】
家庭	◇衣食住に関する基本的な技能の習得【簡単な調理、小物づくり、整理整頓など】
自立活動	◇個別課題に応じた学習



総合コース

- 社会生活に必要な言語能力、数的処理能力の向上を図り、日常生活に生かせるようにする。
- 家庭生活への関心を高め、社会生活に必要な知識・技能・態度・コミュニケーション能力を身に付ける。
- 心身の健康に関する意識を高めるとともに体力の保持増進を図る。

		月	火	水	木	金		
1	8:50	トレーニング(保健体育・職業) HR(学級)						
	9:30							
2	9:40	職業	数 学	国 語	職業	数 学		
	10:30		国 語	職 業		家 庭	理 科	
3	10:35		自 立 活 動	職 業		職 業	家 庭	理 科
	11:25							
4	11:25							
	12:15							

※社会を学年ごとに午後に1時間行います。



教科、項目	授 業 内 容
トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> ◇運動トレーニング【ランニング・筋力トレーニング】 ◇職業トレーニング【パソコン入力、ピッキング、清掃、など】 ◇認知トレーニング【コグトレなど】
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ◇一人一人に応じた学習内容、小グループによる学習 【漢字、文章読解、聞く・話す・伝える、熟語、作文など】
数 学	<ul style="list-style-type: none"> ◇一人一人に応じた学習内容、小グループによる学習 【四則計算、金銭、時刻と時間、長さ・重さなど】
理 科	◇実験や観察などの体験的な学習を通して社会生活に必要な問題解決の力等の育成
社 会	◇社会的事象について関心をもち、情報を適切に調べまとめたり、表現したりする。
職 業	<ul style="list-style-type: none"> ◇社会生活に必要な基本的知識・技能の習得や社会自立に必要なマナーやルールの習得 【働くこと、見だしなみ、消費生活、進路など】 ◇清掃活動などを通し、勤労・協力の心の育成
家 庭	◇衣食住に関する基本的な技能の習得【裁縫、調理、衣服の手入れ、家庭生活など】
自 立 活 動	◇個別課題に応じた学習

職業コース

- 社会生活に必要な基礎学力（国語・数学）の向上を図り、日常生活に生かす。
- 就労や社会生活に必要な知識・技能・態度を身に付け、幅広い分野の知識と経験を、生活や進路に生かす。
- 衣食住に関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的知識と技能を身に付ける。

		月	火	水	木	金	
1	8:50	HR (学級) トレーニング (保健体育・職業)					
	9:30						
2	9:40	職 業	情 報	国 語	職 業	数 学	
	10:30		国 語	数 学		家 庭	
10:35	3		11:25	4		11:25	理 科
12:15	自立活動		情 報				

※社会を学年ごとに午後に1時間行います。

教科、項目	授 業 内 容
トレーニング	◇運動トレーニング 【ランニング・筋力トレーニング】 ◇職業トレーニング 【パソコン入力・清掃など】
国 語	◇一人一人に応じた学習内容、小グループによる学習 【漢字、文章理解、外来語、聞き取り、メモの取り方など】
数 学	◇一人一人に応じた学習内容、小グループによる学習 【四則計算、百分率、金銭、図形など】
理 科	◇実験や観察やなどを通して社会生活に必要な問題解決の力等の育成
社 会	◇社会的事象について関心をもち、情報を適切に調べまとめたり、表現したりする。
職 業	◇職業生活に必要な知識・技能の習得 【見だしなみ、就労意欲・態度、公共のマナー、コミュニケーションなど】 ◇専門的技能の習得【クリーンサービス オフィスサービスなど】 《社会人講師の活用》 ◇社会自立に必要な力の習得【健康管理、経済生活、人との付き合い、選挙など】 ◇勤労・協力の心の育成
家 庭	◇衣食住や消費生活に関する知識や技能の習得 【裁縫、栄養、調理、洗濯、アイロンがけ、整理整頓、衣服の洗濯・補修 リサイクルの仕組み、経済・消費生活など】
自立活動	◇個別課題に応じた学習【人間関係の形成、コミュニケーションなど】
校外学習	◇進路学習を中心とした経験拡充のための体験的な活動【職場見学、職場体験など】



訪問教育

訪問教育とは、特別支援学校教育における教育の一形態で、通学して教育を受けることが難しい生徒に対して、教師が家庭を訪問し教育を行うものである。

- 心身の健康の維持・増進を図る。
- 身近な人やものと相互にかかわり合う活動を通して、それらへの興味・関心を喚起し、自らかかわろうとする力を育む。
- 一人一人の疾病や障害、発達段階や生活環境を踏まえた学習の実践に努め、より豊かな生活の拡大を図る。
- 保護者との協力・連携を図る。

授業日数及び授業時数

- 年間 35 週で、週 3 回、年間 105 日（210 時間）程度行う。
- 1 回の訪問授業は 2 時間で、午前か午後のどちらかで行う。
（午前の部は 9：30～11：30、午後の部は 13：30～15：30）
- スクーリング
同学年の授業や、学校行事・学部行事へ参加し、小集団での活動を通して、経験を深め、興味・関心の幅を広げる。
※スクーリングの参加に当たっては、必ず保護者が付き添うことになっている。

学習について

- 自立活動 個々の児童生徒の実態に応じて、五感を刺激する感触遊びや、揺れや振動を感じる遊び、ふれあい体操、課題別学習等を行う。
- 1 日の訪問の授業の流れ（例）

学習活動	内 容
健康観察 1 始めの会	・呼び掛け、表情の観察、手足、顔、お腹や背中に触れる等による観察 ・始まりの歌、あいさつ、呼名、カレンダー、天気調べ、今日の予定など
2 自立活動	・「おはなしを聞こう」 ・「植物を育てよう」 ・「訪問集会をしよう」・「カレンダーをつくらう」など ・「課題別学習」 ・ふれあい体操・感じよう（五感で感じよう） ・「手浴～泡で遊ぼう～」など
4 終わりの会 健康観察	・今日の振り返り、終わりの歌、あいさつなど ・呼び掛け、表情の観察、手足、顔、お腹や背中に触れるなどによる観察



(10) 縦割り編制の学習について

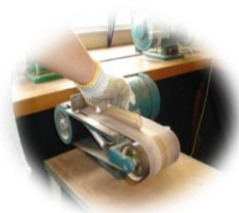
職業（作業的学習）

- 総合コース内で縦割り編制
- エコ・クラフト班は生活コースで編制

木工班

【スマホスピーカー、プランターカバー、その他木工製品】

- ◇製品づくりを通して物をつくる喜びを味わい、意欲的に作業することができる。
- ◇作業時間内集中して作業に取り組むことができる。
- ◇道具や工具、機械等の基本的な扱い方を知り、安全に留意しながら作業に取り組むことができる。



ビーズ班

【ストラップ、アクセサリ、ビーズ小物製作など】

- ◇作業工程を理解し、進んで作業することができる。
- ◇手指の巧緻性を高める。
- ◇決められた時間、集中して作業に取り組むことができる。



レザー班

【ストラップ、キーホルダー、ネームホルダー製作など】

- ◇作業工程を理解し、進んで作業することができる。
- ◇手指の巧緻性を高める。
- ◇決められた時間、集中して作業に取り組むことができる。



手工芸班

【ランチョンマット、スウェーデン刺繍、クラフトかごなど】

- ◇作業工程を理解し、進んで作業することができる。
- ◇手指の巧緻性を高める。
- ◇決められた時間、集中して作業に取り組むことができる。



園芸班

【農場の管理、作物の栽培など】

- ◇活動の流れを理解し、見通しをもって作業に取り組むことができる。
- ◇自らの目標をもって意欲的に作業に取り組む中で、働くことへの意欲を高めることができる。



エコ・クラフト班（生活コース）

【シュレッダーがけ、牛乳パックを再利用した製品、ペットボトル分別など】

- ◇活動の流れを理解し、一定時間集中して作業に取り組むことができる。
- ◇製品づくりを通して、物をつくる喜びを味わい、進んで作業に取り組むことができる。



	保 健 体 育
--	----------------

1年生は学年で縦割りグループ
2、3年生は、合同で縦割りグループ

グループ 月	Aグループ	Bグループ	Cグループ
4	体づくり運動 新体カテスト	体づくり運動 新体カテスト	体づくり運動 ↓
5	陸上競技	陸上競技	新体カテスト
6	↓	↓	陸上競技
7	体育理論	体育理論	体育理論
9	器械運動	器械運動	器械運動
10	球技	球技	球技
11	↓ 高等部球技大会	↓ 高等部球技大会	↓ 高等部球技大会
12	↓	↓	↓
1	武道	武道	武道
2	↓	↓	↓
3	ダンス	ダンス	ダンス

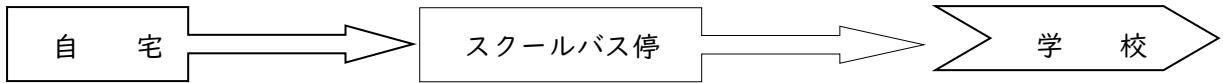
3 主な年間行事予定

1 学 期		2 学 期		3 学 期	
四 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 始業式 ・ 入学式 ・ 対面式 ・ 学年・学部懇談会 	九 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2学期始業式 ・ 個別面談(1年) ・ 宿泊学習(2年) 	一 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3学期始業式 ・ 第Ⅲ期現場実習 (3年該当者) ・ 短期企業実習(1年)
五 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠足(1年) 	十 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第Ⅱ期現場実習(2・3年) ・ 校内実習(1年) ・ 創立記念日(14日) ・ 高等部説明会②③ 	二 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別面談(1～3年) ・ 児童生徒会役員選挙 ・ 授業参観 ・ 卒業生を送る会 ・ 入学者選考
六 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別面談(1～3年) ・ 第Ⅰ期現場実習(2・3年) ・ 第Ⅰ期校内実習(1年) ・ 高等部説明会① 	十 一 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修学旅行(3年) ・ 特体連スポーツ競技会 ・ 学校公開 	三 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業式 ・ 修了式
七 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ アビリンピック大会 (職業コース) ・ 授業参観 ・ 1学期終業式 ・ 夏休み ・ 個別面談(2,3年) 	十 二 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参観 ・ 2学期終業式 ・ 冬休み 	※夏季休業中 1・2年：福祉事業所相談会	

6 通学方法

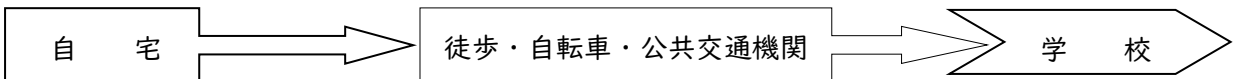


(1) スクールバス利用



- ・保護者送迎
- ・自主通学（スクールバス停まで、一人で徒歩や自転車で通学する。
練習・手続き・校長の承認が必要となる。）

(2) 自力通学



自力通学

- ・通学方法・・・公共交通機関、自転車等を利用して自宅から学校まで生徒自身で通学する。
練習・手続き・校長の承認が必要となる。
- ・目的・・・将来の社会自立を考慮し、自力で学校へ通う態度や生活力を養う。

7 進路指導

目 標

学ぶことと自己の将来とのつながりを見通すことのできる系統的な指導内容の計画と実施をし、卒業後の自立と社会参加を目指す。

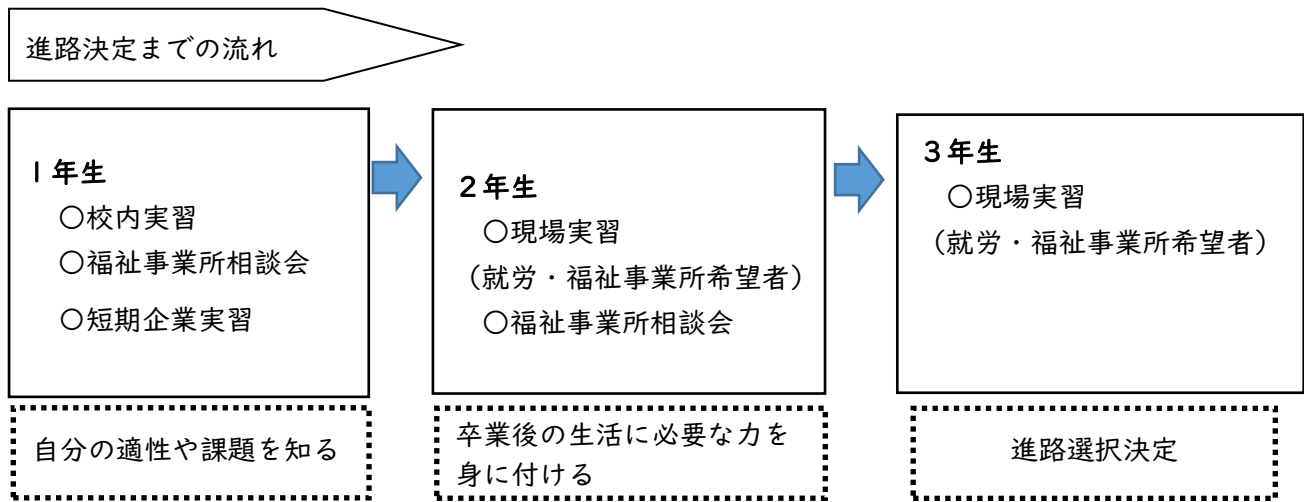
進 路 相 談

個別面談時または保護者の要望により随時実施する。

実 習



校内実習	コースごとに卒業後の進路先を想定した環境を設定し、社会生活に必要な能力や態度（あいさつ、言葉遣い、身だしなみなど）を身に付ける。 (2週間/年2回)
短期企業実習	企業で働く経験を通して学び、職場適応や働く態度、技能を養う。 (3日/年1回)
現場実習	進路決定に向けて、想定される進路先（企業、福祉事業所など）で実習を行う。(1週間～2週間/年2～3回)



過去3年間の卒業生進路先

卒業年度	就職	訓練機関	福祉サービス	施設入所	在宅	進学	合計
R5	8	0	26	1	0	0	35
R6	14	0	20	0	1	0	35
R7	7	0	27	3	0	0	34

8 個別の指導計画と個別の教育支援計画

(1) 個別の指導計画

- ・生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、指導内容や方法を明らかにする。
- ・作成に当たって、個別面談等で保護者と生徒の指導について話し合い、共通理解を深め、日々の指導に活用する。
- ・一貫した指導を行うことができるように評価（個別面談で説明）するとともに、指導内容などの改善を図り、次年度へと引き継ぐ。

(2) 個別の教育支援計画

- ・生徒一人一人のニーズを正確に把握し、適切な支援を行うために作成する。
- ・本人及び保護者の願い、医療、福祉など、関係機関とのかかわりをまとめ、本人及び保護者の同意の基に、関係機関との連携を図るための資料として活用する。

(3) 個別の移行支援計画

- ・本人及び保護者の同意の基に、卒業後の移行先への引き継ぎ資料として活用する。

9 服装・持ち物

(1) 服装

- ・通学時…標準服(パンツスタイル スカートスタイル)
紺色のブレザー、グレーのズボン、チェックのスカート、
白のワイシャツ、ブラウス、ポロシャツ(実態に応じて)、
ネクタイ、リボン(学校指定)*ベストやカーディガンの着用可
- ・靴、上履き…履きやすい運動靴など
- ・体操服(学校指定)…ジャージ(上下)、Tシャツ、ハーフパンツ
- ・作業服(職業で着用)…長袖、長ズボン(2ピースのものでズボンはストレートタイプ、色は紺・グレーなど)
*職業・総合コースの生徒対象。
*入学後、担任よりコースの発表があってから、家庭で用意する。



(2) 持ち物

- ・かばん…扱いやすいもの(スポーツバックやリュックなど)
- ・連絡ノート、筆記用具、配付物入れ
- ・給食セット(はし・スプーン・エプロン・マスクなど)…手の大きさや体に合ったものを家庭で用意する。

